

言語研究法 ('19)

第7回 形態論① 7-1

1

言語研究法 ('19) 第7回 形態論①

形態素と語形成

(<第10講> & <第12講>)

2

今回のポイント

- 形態論って？ 何の形を扱う？
 - 語レベルのこと、語の形、語の成り立ち
- 語を分解する
 - 「形態素」とは？：意味をもつ最小の単位
 - 形態素の組み合わせ
- 単語の作られ方（「語形成」）
 - 形と意味の関係

3

<第10講> なぜ単語じゃなくて形態素？

あなたは言語学者、
未知の言語を調査中に、こんなメモ？をゲット…

Seeing is believing.
You're unbelievable!
Her belief in God is very firm.

どうも形が似過ぎた単語があるな…

4

<第10講> なぜ単語じゃなくて形態素？

あなたは言語学者、
未知の言語を調査中に、こんなメモ？をゲット…

Seeing is believing.
You're unbelievable!
Her belief in God is very firm.

どうも形が似過ぎた単語があるな…

言語研究法 ('19)

第7回 形態論① 7-1

5

なぜ単語じゃなくて形態素？（続）

- see, believe という単語はすでに知っていて、
- X is Y という言い方も知っているとすれば、

Seeing is believing.

↑
see + ing → seeing
believe + ing (→ believeing) → believing

6

なぜ単語じゃなくて形態素？（続）

- see, believe という単語はすでに知っていて、
- X is Y という言い方も知っているとすれば、

See**ing** is believ**ing**.

↑
see + ing → seeing
believe + ing (→ believeing) → believing

7

なぜ単語じゃなくて形態素？（続々）

- able という単語をすでに知っていて、
- unfair, uneasy などの単語も知っているとすれば、

unbelievable

↑
believe + **able** (→ believeable) → believ**able**
un + believable → **un**believable

8

なぜ単語じゃなくて形態素？（続々）

- able という単語をすでに知っていて、
- unfair, uneasy などの単語も知っているとすれば、

unbeliev**able**

↑
believe + **able** (→ believeable) → believ**able**
un + believable → **un**believable

言語研究法 ('19)

第7回 形態論① 7-1

9

なぜ単語じゃなくて形態素？（続々々）

- believe は知っていて、her X (人's X) も知っているから、
- belief という単語は「信じるもの・こと」のような意味ではないか？

belief

↑ (矢印の向きを決めるには調査が必要)

believe

10

ここまででわかること

- ✓語より小さくても意味を持つ単位がある
- ✓そうした単位は語に付いて別の語をつくったり、語の働きを変えたりする
- ✓語の形を部分的に変えて別の語にすることもある
- ✓believe や belief は自立できるが、
- ✓-ing や un- は自立できず他の語に付加され、
- ✓able は自立する形と付加される形の両方がある

11

まとめと用語

- 意味を持つ最小の単位を「**形態素**」と呼ぶ
形態素は語より小さいこともあり（例：-ing, un-）
そのままで語になることもある（例：see, believe）
- 形態素には、自立できるものと、自立できないものがあり、各々「**自由形態素**」「**拘束形態素**」と呼ぶ
- 拘束形態素が付く相手を「**語幹**」といい、語幹に付く拘束形態素という意味で「**接辞**」と呼ぶ

12

ではちょっと問題練習で確認を

Q. 各々、正しい？ 正しくない？

- ① 英語の seeing という形で、see は形態素だが ing は形態素でない。

言語研究法 ('19)

第7回 形態論① 7-1

13

ではちょっと問題練習で確認を

Q. 各々、正しい？ 正しくない？

- ① 英語の seeing という形で、see は形態素だが ing は形態素でない。 [×]
- ② 英語の unable という形容詞で、able は自由形態素で、un は拘束形態素だ。

14

ではちょっと問題練習で確認を

Q. 各々、正しい？ 正しくない？

- ① 英語の seeing という形で、see は形態素だが ing は形態素でない。 [×]
- ② 英語の unable という形容詞で、able は自由形態素で、un は拘束形態素だ。 [○]
- ③ 英語の unbelievable という形容詞で、believe は語幹で、un と able は接辞だ。

15

ではちょっと問題練習で確認を

Q. 各々、正しい？ 正しくない？

- ① 英語の seeing という形で、see は形態素だが ing は形態素でない。 [×]
- ② 英語の unable という形容詞で、able は自由形態素で、un は拘束形態素だ。 [○]
- ③ 英語の unbelievable という形容詞で、believe は語幹で、un と able は接辞だ。 [○]

第7回 形態論① 7-2

16

接辞の働き①：語形変化

- believe (動詞)
believe + **s** → believes (三人称単数現在形)
believe + **ing** → believing (動名詞、現在分詞形)
believe + **ed** → believed (過去形、過去分詞形)
- book (名詞)
book + **s** → books (複数形)

■ 「屈折」：同じ語（語彙素）の中での語形変化

17

接辞の働き②：別の語をつくる

- believe (動詞)
believe + **able** → believable (形容詞)
believable + **ity** → believability (名詞)
- certain (形容詞)
un + certain → uncertain (形容詞)
uncertain + **ty** → uncertainty (名詞「不確実」)

■ 「派生」：別の語（語彙素）を作り出すプロセス

18

ではまた問題練習で確認を

Q. 各々、「屈折」と「派生」どちら？

① 動詞 live の過去形が lived になる

19

ではまた問題練習で確認を

Q. 各々、「屈折」と「派生」どちら？

① 動詞 live の過去形が lived になる [屈折]

言語研究法 ('19)

第7回 形態論① 7-2

20

ではまた問題練習で確認を

Q. 各々、「屈折」と「派生」どちら？

- ① 動詞 live の過去形が lived になる [屈折]
 ② happy に ness が付いて happiness になる

21

ではまた問題練習で確認を

Q. 各々、「屈折」と「派生」どちら？

- ① 動詞 live の過去形が lived になる [屈折]
 ② happy に ness が付いて happiness になる [派生]

22

ではまた問題練習で確認を

Q. 各々、「屈折」と「派生」どちら？

- ① 動詞 live の過去形が lived になる [屈折]
 ② happy に ness が付いて happiness になる [派生]
 ③ 「親切」に「不」が付いて「不親切」になる

23

ではまた問題練習で確認を

Q. 各々、「屈折」と「派生」どちら？

- ① 動詞 live の過去形が lived になる [屈折]
 ② happy に ness が付いて happiness になる [派生]
 ③ 「親切」に「不」が付いて「不親切」になる [派生]

第7回 形態論① 7-2

24

ではまた問題練習で確認を

Q. 各々、「屈折」と「派生」どちら？

- ① 動詞 live の過去形が lived になる [屈折]
- ② happy に ness が付いて happiness になる [派生]
- ③ 「親切」に「不」が付いて「不親切」になる [派生]
- ④ 「お茶」は「お+茶」と分析できる

25

ではまた問題練習で確認を

Q. 各々、「屈折」と「派生」どちら？

- ① 動詞 live の過去形が lived になる [屈折]
- ② happy に ness が付いて happiness になる [派生]
- ③ 「親切」に「不」が付いて「不親切」になる [派生]
- ④ 「お茶」は「お+茶」と分析できる [屈折]

第7回 形態論① 7-3

26

<第12講> 単語の作られ方（語形成）

Q. 形態論的操作によって別の語（新しい語）が
つくられる場合はすべて「派生」と言えるか？

A. こんなのは如何？

「ほうじ茶」

← 焙じ + 茶 （「焙じ」は接辞ではない！）

語根 + 語根

27

派生と合成（複合）

■派生

接辞と語幹(*)の組み合わせ

(*)「語幹」は接辞との関係という形を意識した用語

<例> 非 + 常識 → 非常識

■合成（複合）

語根(**)同士の組み合わせ

(**)「語根」は語を担う意味の面を意識した用語

<例> 社会 + 常識 → 社会常識

28

接辞？ 語根？（「打つ～ぶつ」）

Q. 派生語？ それとも複合語？

① 「打ち倒す」 (<例> 「死力を尽くして敵を打ち倒した」)

② 「ぶんなぐる」

③ 「ぶっとばす」 (<例> 「時速100kmでぶっとばす」)

29

接辞？ 語根？（「打つ～ぶつ」）

Q. 派生語？ それとも複合語？

① 「打ち倒す」 (<例> 「死力を尽くして敵を打ち倒した」)

“打って倒す”と考えれば、語根 + 語根 で複合語

② 「ぶんなぐる」

(“ぶって殴る”なら複合語) “強く殴る”なら派生語

③ 「ぶっとばす」 (<例> 「時速100kmでぶっとばす」)

“ぶつ”意味はないので、接辞 + 語幹 で派生語

⇒ 実際には境界が連続的でグレーゾーンも結構広い

言語研究法 ('19)

第7回 形態論① 7-3

30

照り焼きバーガーと卵サンドの謎

- 「照り焼き」 + 「バーガー」の複合語
でも「バーガー」って??
← hamburger 「ハンブルグ風の」
- 「卵」 + 「サンド」の複合語
「サンド」??
← sandwich 「サンドイッチ」

31

サンド?! wich?



32

照り焼きバーガーと卵サンドの謎

- 「照り焼き」 + 「バーガー」の複合語
でも「バーガー」って??
← hamb**u**rger 「ハンブルグ風の」
- 「卵」 + 「サンド」の複合語
「サンド」??
← sand**w**ich 「サンドイッチ」

異分析

33

語形成のいろいろ：混成語（かばん語）

- 2つの形態素の部分を合成した複合語
- 英語の例
 - breakfast + lunch → brunch
 - web + log → blog
 - emotion + icon → emoticon

第7回 形態論① 7-3

34

語形成のいろいろ：混成語（かばん語）

■2つの形態素の部分を合成した複合語

・英語の例

breakfast + lunch → brunch

web + log → blog

emotion + icon → emoticon

35

語形成のいろいろ：混成語（かばん語）

■2つの形態素の部分を合成した複合語

・英語の例

breakfast + lunch → brunch

web + log → blog

emotion + icon → emoticon

・日本語の例

ゴリラ + クジラ → ゴジラ

よそおう（装う） + もる（盛る） → よそる

36

語形成のいろいろ：混成語（かばん語）

■2つの形態素の部分を合成した複合語

・英語の例

breakfast + lunch → brunch

web + log → blog

emotion + icon → emoticon

・日本語の例

ゴリラ + クジラ → ゴジラ

よそおう（装う） + もる（盛る） → よそる

37

語形成のいろいろ：刈り込みと頭字語

■刈り込み：語の一部を省略して新たな語にする

influenza → flu

各駅停車 → 各停

言語研究法 ('19)

第7回 形態論① 7-3

38

語形成のいろいろ：刈り込みと頭字語

- 刈り込み：語の一部を省略して新たな語にする
influenza → flu
各駅停車 → 各停

5

39

語形成のいろいろ：刈り込みと頭字語

- 刈り込み：語の一部を省略して新たな語にする
influenza → flu
各駅停車 → 各停
- 頭字語：語の頭文字をつなげて新たな語にする
United Nations → UN
Japan Railways → JR
acquired immune deficiency syndrome → AIDS

10

15

40

語形成のいろいろ：刈り込みと頭字語

- 刈り込み：語の一部を省略して新たな語にする
influenza → flu
各駅停車 → 各停
- 頭字語：語の頭文字をつなげて新たな語にする
United **N**ations → UN
Japan **R**ailways → JR
acquired **i**mmune **d**eficiency **s**yndrome → AIDS

20

25

41

では問題練習で確認を

- Q. 次の例はどんな語形成のタイプ？
- ①「勉強する」
勉強 + する → 勉強する

30

35

言語研究法 ('19)

第7回 形態論① 7-3

42

では問題練習で確認を

Q. 次の例はどんな語形成のタイプ？

①「勉強する」

勉強 + する → 勉強する

語根 + 語根 → 複合語

5

43

では問題練習で確認を

Q. 次の例はどんな語形成のタイプ？

①「勉強する」

勉強 + する → 勉強する

語根 + 語根 → 複合語

②「春めく」

春 + めく → 春めく

15

44

では問題練習で確認を

Q. 次の例はどんな語形成のタイプ？

①「勉強する」

勉強 + する → 勉強する

語根 + 語根 → 複合語

②「春めく」

春 + めく → 春めく

語幹 + 接辞 → 派生語

25

45

では問題練習で確認を

Q. 次の例はどんな語形成のタイプ？

①「勉強する」

勉強 + する → 勉強する

語根 + 語根 → 複合語

②「春めく」

春 + めく → 春めく

語幹 + 接辞 → 派生語

③「せざるおえない」

せざるを得ない → せざる負えない・終えない

35

言語研究法 ('19)

第7回 形態論① 7-3

46

では問題練習で確認を

Q. 次の例はどんな語形成のタイプ？

- ①「勉強する」
勉強 + する → 勉強する 語根 + 語根 → 複合語
- ②「春めく」
春 + めく → 春めく 語幹 + 接辞 → 派生語
- ③「せざるおえない」
せざるを得ない → せざる負えない・終えない 異分析

47

では問題練習で確認を

Q. 次の例はどんな語形成のタイプ？

- ①「勉強する」
勉強 + する → 勉強する 語根 + 語根 → 複合語
- ②「春めく」
春 + めく → 春めく 語幹 + 接辞 → 派生語
- ③「せざるおえない」
せざるを得ない → せざる負えない・終えない 異分析
- ④「あけおめ」
あけましておめでとう → あけおめ

48

では問題練習で確認を

Q. 次の例はどんな語形成のタイプ？

- ①「勉強する」
勉強 + する → 勉強する 語根 + 語根 → 複合語
- ②「春めく」
春 + めく → 春めく 語幹 + 接辞 → 派生語
- ③「せざるおえない」
せざるを得ない → せざる負えない・終えない 異分析
- ④「あけおめ」
あけましておめでとう → あけおめ 刈り込み